

小学生低学年の部



水を大切に

石巻市立蛇田小学校 3年 岩間 杏実

「水、出したままだよ。」と、おばあさんの声が聞こえてきました。何か考えごとをしていると、どうしても水道のじゃ口をしめわすれてしまう時があります。

(また、わすれてしまった。)と、その時ははんせいします。おばあさんは水が大切だということを知っているので、何度も注意してくれているのだと思います。

もしも、水道から水が出なくなってしまうたらどうなるのかなと考えてみました。家ぞく全員が水を飲めなくなります。よごれた服をあらうことができません。茶わんもあらえませんが。ペットにも水を飲ませることができません。歯みがきもできなくなるし、お風呂にも入れなくなります。よくよく考えてみたらごはんもたけなくなるし、お料理もできなくなるので、家で生活ができなくなってしまいます。そのことを考えただけでも、とても心配な気持ちになってしまいます。

学校でも同じだと思います。プールの学習ができなくなります。手洗いもうがいもできません。理科の実験もできません。トイレを使ってもながすことができません。生き物をかうこともできないし、花にも水をあげることができません。習字のふでもあらうことができません。体育の学習が終わって、のどがかわいても水を飲むことができません。たぶん、多くのお友だちがこまってしまいます。きゅう食も食べるができなくなります。きゅう食センターで料理ができなくなるからです。水道が使えなくなると、楽しいはずの学校がくるしいだけ、つまらないだけの学校になってしまうかもしれません。

水道が使えなくてこまるのは、家や学校だけではないと思います。火事になっても火をけすことができなくなります。お米や野菜を作っている人たちもこまってしまいます。海でお仕事をしている人もこまってしまいます。魚や海そうを洗えなくなってしまうからです。水道のじゃ口から水が出なくなってしまうと、何もかもができなくなってしまうのです。

水道の水は、とても大切なのです。だから、おばあさんがいうように、水をむだづかいしてはいけないと思います。水道のじゃ口をしめわすれて、出しっぱなしにするのもむだづかいです。水道の水は、川の水をきれいにして、水道かんを通ってやってくるので、川や海もきれいにしなければなりません。川や海にごみをすててしまうと、水がよごれてしまいます。小学生でもできることがあるんだなと思いました。

わたしは、のどがかわいた時に、つめたい水を一気に飲むことが大好きです。これからとてもあつい夏になるので、水道の水が飲めなくなってしまうとこまります。お友だちにも水をむだづかいしないように、注意してあげようと思います。